

■犬山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)に関する意見・提案と市の考え方について(パブリックコメントの結果について)

【全体】

○いただいた意見・提案

もっと突出した「犬山らしい理念と意志」を戦略理念・旗印としたい。

犬山の自然、風土、歴史、文化、潜在地力&知力をしっかり踏まえて考えたい。犬山は気候風土が温暖で、地盤が強固かつ津波懸念無く、濃尾平野一円の非常時救援都市の適地にある（東日本大震災における遠野市のごとく）。

縄文（栗栖尾崎古墳・入鹿池古墳群）、弥生時代より、水田稲作定住地で豊かな米どころ（535年入鹿屯倉、1000年ごろ藤原氏荘園：小弓の荘）（1633年入鹿池築造）いまなお水田耕作地が残り米どころの田んぼ地域を、目先の利益・今の世代の利益のために埋め立ててはならない。後世の子どもたちに犬山の中での農産物自給自立の糧・農地として遺すべし。

木曾川流域文化の都として、犬山が最も適している。「木曾川文化の都」。

木材搬出、生活物資運搬＝舟運の要。犬山および犬山城の立地の、軍事戦略的にも戦略要地である。“木曾川を制するもの、犬山を制した者が、次の政権の覇者となる”…壬申の乱、承久の乱、信長の美濃攻め突破口、天正の合戦：秀吉軍の小牧長久手の戦い＝犬山城落城。家康の犬山藩：天領木曾五木・木曾川舟運の拠点犬山城。

国定公園のまち犬山。飛騨木曾川国定公園（日本ライン・八曾の森・入鹿池）。国の天然記念物ヒトツバタゴ。かんがい施設世界遺産：入鹿池。入水地域・貯水池・受益地域がひとつの市域のなかで完結している、希少な市。

武家屋敷が無い（に等しい）商人まちを中核とする城下町犬山。犬山祭の文化。

鉱物資源にも恵まれ、アユチの潟の舟運に恵まれた犬山ならこそその金屋鋳物師集団（羽黒金屋）。養老年間ごろには犬山城下～青塚古墳は伊勢湾に通ずる波打ち際だった。

水源水質が良い。なぜサントリー木曾川工場は羽黒楽田に立地しているかが答。般若用水・木津用水・名古屋市上水道（・愛知用水も当初は犬山上流が取水希望地点）

名鉄グループの地理的立地的に犬山を天賦の戦略地域にしていること。こことタイアップしない手は無い。

などなどを、踏まえて犬山の100年先、1000年先を見据えて、世界に誇れる「まちの生き方、在り方」を考えてほしい。

世界から犬山へ人が来るまち犬山を目指したい。

犬山こそが！ のオンリーワンの事業・産業の創出。トップランナーとなる事業音創出&支援などで、起業誘導、雇用創出で“犬山藩：犬山市”が独自・独立、自立できる姿をこそ、総合戦略目標にしたい。

それを後世の子どもたちに遺してやりたい。

抑え処がしっかりできれば、100年先のありたい姿に向かって、10年先、5年先までにやるべき手立て（施策・戦略的実行計画）が立てやすく、わかりやすくなる。

◆市の考え方について

ご指摘のとおり、犬山は素晴らしい資源や潜在力を有しており、総合戦略においては、自然や風土を大切にし地域を愛する心を醸成する取り組みを推進することとしております。

農業を産業として高めることによる経済の活性化は総合戦略においても大きなテーマであると考えており、今後は経済及び農業振興のバランスを取りながら推進していく必要があると考えています。

また、恵まれた川の恵みを活かしまちの活性化を進めることとしており、入鹿池が世界かんがい遺産となるなど、犬山市は城下町以外にも本当に魅力が満載のまちであると思います。郷土を誇りに思い愛着を深めるためには、こうした市全域の資源を大切にしていけることが肝要であると考えており、総合戦略もそうした考えを有しています。

犬山祭をはじめ、市内で多数行われている地域の祭りも非常に大切な地域資源です。地域内の融和や活性化のため、「祭りを活かした地域づくり」は非常に有効であると考えており、今後も、「祭り」という貴重な資源を活用していくことが肝要であると考えています。

水質が良いと言われていることも犬山の強みの一つであると考えています。飲料メーカーが立地し、水に関する施設があるなど、こうした切り口も活かしながら、郷土を誇りに思う気持ちを育んでいきたいと考えています。

名古屋鉄道とのタイアップについては、現在も、春と秋にキャンペーンを実施し、観光振興に努めております。「観光」も本市の重要な要素です。24頁の“訪れたいまち”があるの重点事業として、「戦略ある観光まちづくりをすすめます」としており、名鉄をはじめ関係機関と連携を密にして、今後も積極的な情報発信等の取り組みを進めます。

京都大学霊長類研究所や東大演習林等との連携については、取り組みの方向性として、「大学、学生の力を地域課題の解決に活かす」ことを目指しております。大学などの教育機関が地域で活躍できるような場と機会の創出を検討してまいります。

犬山の歴史や過去の経緯なども踏まえて提出いただいたご意見からは、犬山を愛するお考えが強く伝わってまいります。今後、こうした魅力的な資源を先人から引き継ぎ、良い形で次代に繋いでいきたいと考えております。

また、総合戦略が進めていくべき方向性として「地域の絆強化・郷土愛の醸成」があり、「心から地元を愛する気持ち」を育みたいという思いがございます。一人ひとりが「まちへの愛情」を高めていけるような働きかけをしてまいりたいと考えています。

○いただいた意見・提案

犬山市民憲章以降、各次の総合計画のたな卸しと評価と、継承を！！

◆市の考え方について

総合計画については、平成28年度に中間期を迎えます。策定時点から状況も大きく変化していることから、今回策定する総合戦略を踏まえ、計画の見直しを実施することとしており、これまでの進捗状況や達成状況評価の作業を実施していきます。

○いただいた意見・提案
基本的なことですが、机の上に並んでいる資料を喫茶店に置いてもらってはどうか(可能なら)。今、これもそこで書いています。落ち着いて目が通せると思います。
◆市の考え方について
今回、パブリックコメントを実施するにあたり、より多くの方に関心を持っていただくために、市役所一階ロビーに閲覧場所を設け、「パブリックコメント開催中！」という大きな看板を設置して、極めて単純ですが「目立つように」しました。 また、市公式ホームページや各出張所、図書館などでも閲覧できるほか、フェイスブックも活用して告知し、情報の拡散を図りました。 「市役所内の喫茶店に置いてはどうか」との提案は非常に有意義ですので、今後の事務の参考にさせていただきます。

【序章】

〈計画づくりから市民等が参画〉

○いただいた意見・提案
貴案策定にあたり様々な世代の意見を聞き進めることが必要とされ、“若い市民”と職員22名の未来考え隊が置かれ各地で意見聴取し、貴案に取りまとめられた(2章5)。この隊の“若い市民”を慰労しようと犬山市ボランティア協議会で招聘したら“若い市民”で無く市の職員がお越しになり驚いた。“若者ならではの視点で“必要された顔の見えない若い市民は、そもそもどう選考された相応しい人なのか?今後“若い市民”を活用するなら、公募して審査で選考するか(他市町で取り組まれているように)公平にランダムに依頼する必要がある。
◆市の考え方について
総合戦略については、様々な市民と一緒に策定に取り組んできました。特に若い世代の意見や提案を取り入れたいとの考えから、市職員と若い市民によるワーキンググループ「犬山の未来を考え隊」(以下「考え隊」という)を立ち上げました。募集にあたっては、新成人の集い実行委員会のOBなどに声を掛けるとともに、広報いぬやまやフェイスブックなどを活用して呼びかけました。より多くの若者に参加してほしいとの思いから、募集は随時、活動は出入り自由でいつでも参加可能とし、審査による選考は行っていません。実際に、犬山出身で現在は奈良県の大学に通う学生さんがフェイスブックページを見て応募されるなど、遠方からも人の輪ができました。 この考え隊の活動内容は、主に自分達自身で戦略に資する事業提案を考えるとということ、市内各所へ出向き、職員とともにインタビューやアンケートを行いました。 今後は、こうした参画の輪を大切にして、「行政の取り組みに参加してまちづくりに関わると意外と楽しいな」「やりがいがあるな」と感じていただき、「また参加しようかな」と感じてもらえるように取り組みを進めるとともに、ご指摘も参考にしながら、公募にあたっての周知やPRの方法を工夫したいと考えています。

<計画づくりから市民等が参画>

○いただいた意見・提案

各地での意見聴取の1つに参加した。各地で聴取の当初は意見聴取を実際に行かせたりしていたのであろうが、参加した会場では最早意見カードが出来ていて読み切れないほど多量のため選ぶだけ。参加者が自己の意見を交わす場よりはゲーム遊びで不適切だった。しかもカードの中に「地震が少ない犬山」が有り驚いた。このカードを持って1年かけて犬山市各地に啓発されたのか、犬山市には市に協力して毎日毎週のように防災活動ボランティアに行っている団体があるのに、と思うと呆れた。そもそも何故犬山市は総合防災訓練を他の同様に毎年行っているのですか？災害が少ないなら毎年は必要ないでしょう。言うまでもなく“災害”とは予想外の・思わぬ・想定外の・ものであり、全国で較べられるものではない。犬山市でも土砂崩れや水害は起きているし、丘陵地を除いて木曾川の川底を示す地形であり、正確にカード化しなければ単なるアジテート・夢の安心宣伝である。そして市民は何とこのカードから、お勧めの1番に選んでしまっている（かわら版10月号）。夢の安心宣伝が成功したとも言えます。

時間がかかっても参加者が自己の意見を交わす場にしてゲーム遊び化は不適切です。

カード化するのならば、正確を期してもらいたい。他の課のチェックを受けてほしい。

◆市の考え方について

参加いただきました「いいね！いぬやま総合戦略THE・市民会議」では、多くの市民や団体などを訪問した訪問型アプローチで「犬山のいいところ(いいね!)」と「改善すべきところ(こうなるといいね!)」を伺った意見カードをもとにして、参加した市民のみなさんにワークショップ形式で議論いただき、重要だと思ふテーマや提案をまとめていただきました。

各所でいただいた意見も、市民会議で選んでいただいた意見・提案も、策定にあたり貴重な成果、戦略の種として捉えております。進め方については、議論を戦わせるという会議もあると思いますが、この市民会議はワークショップの手法の一つとしてみなさんが楽しみなながらも真剣にディスカッションしていただき、犬山の未来を考えていただけるように設定させていただきました。カードの表記について誤解を招く表現があったとのご指摘については、真摯に受け止め、今後の取り組みに活かしてまいります。一方で、今回のワークショップにおいては、「地盤が強く、地震による被害が少ない犬山」を犬山の強みとしてPRしていくことが必要であるとの主旨で議論がされておりました。この議論は、防災に対する取り組みの重要性と相反するものではなく、市民のみなさんの日頃のボランティア活動や地域での防災訓練の取り組みは、非常に意義深いものであると考えています。総合戦略では、多様な主体の市民活動を応援することとしており、市民一人ひとりに「居場所と出番」があるまちの実現を目指しています。

<計画づくりから市民等が参画>

○いただいた意見・提案

人口減少も経済の縮小も、犬山に転居してきた人(子どものある家庭等世代別に)の意見を参考にされたら如何ですか？私も県外から転居してきましたが、夫婦で来た人は珍しいといわれました。関西や東京への転勤者は、関西弁や江戸っ子弁を話し始めるが、名古屋弁を話す人はいない。それは、中小企業が多い中京地区の人は、転勤がないので、先祖代々からここに住んでおり、自分たちの生活状態が憲法になっている。従って、よそから来た人は馴染めず、また馴染もうともしない。それは、他の地区から見るとあまりにも勝手に理不尽な考えや行動が多く、指摘しても改める気配すらない。私も、地元のグループに入れてもらえたのは、町内会の役員を担い無理矢理に希望した結果。要は、新しく犬山に転居してきた人たちが、犬山のどこが生活しにくいのか。どうすれば良いのか等の意見を聞き、地元市民と意見交換すると良い。

◆市の考え方について

市外から犬山へ転居いただいた方の視点は、犬山市を客観的に見る上で非常に貴重であり、ご指摘の「外から来た人が住みやすくなるようなまちづくりのためにそうした人から意見を聞く、話合いの場を持つ」という考え方は重要であると思います。

3頁の「犬山市の課題と特徴の整理」では、「新しく来た人を受け入れる開放的な風土の形成が求められています」と整理されており、行政としても課題として認識しているところです。地域の祭りや様々な活動などを応援することで、地域内の融和が図られるよう、取り組みを進めます。今回の総合戦略策定の過程においては、市の職員や若い市民が、子育てサークル、老人クラブ、大学、高校、企業、地域の祭りなどに出向き「犬山の未来が良くなるには？」というテーマでお話しを直接お聞きする「訪問型アプローチ」という取り組みを行いました。これは、「生の声を直接聞くことで、埋もれてしまいがちな意見や提案を掘り起し、戦略の種を見つけよう」という取り組みであり、ご提案の主旨と市の考え方は同じ方向を向いていると考えています。今後も、各種の計画策定やまちづくりの様々な局面において、こうした手法も取り入れながら、誰にとっても住みよいまちになるよう、市民のみなさんと行政が一緒になって進めてまいります。

【1章 人口ビジョン】

<人口ビジョン>

○いただいた意見・提案

- ・子育て(子どもの数)問題
- ・職場探し(子育て世帯の母親は、どんなところで働いているのかを要調査)問題
- ・車を購入しないと生活しにくい問題
- ・地域のチームメンバーに参加し難い問題
- ・有数の歴史観光資源を有しているが、本町以外は参加していない。参加できない問題…魅力づくりは全市挙げての戦略・戦術がいき、又「おもてなし」もできる。又ボランティア活動が盛んな犬山市だが、世代交代や組織作りが未熟な為、市民生活への寄与範囲が問題。
- ・財源の問題…予算配分先の事業仕分けが必要。古くから慣例で実態の薄いのに予算配分が続けられている。配分するなら活動報告提出と審査を(町内会長職手当等)もっと市民貢献になる業務を積極的に課す。…「税金の使途見えるか」
人口10万都市目標。どの世代増で達成するか・・・税金収入増の世代増を優先に数字で表す総合戦略を…「山田市長になって何かわるの」が未だ見えてこないです。

◆市の考え方について

本市は、既に人口減少局面となっており、人口ビジョンにおいては2060年の総人口は、今より約2万4千人減の「51,600人」と推計されています。一方で、様々な施策を効果的に進めることで推計値より約1万人増加させ、61,000人を堅持する人口の目標を定めています。

これは、大きなチャレンジであり、人口減少を食い止めるためには、30歳から40歳代の若い世代の増加が必要であり、子育て世代の定住を促進するための施策を展開していくことが重要だと考えています。

<人口ビジョン>

○いただいた意見・提案

1章には年少人口、生産年齢人口、老年人口、に分け・合計して推論されている。年少人口、生産年齢人口、老年人口、に分けた、この冊子での年齢区分を明記しないと議論がかみ合わない。

提案。2章8用語解説に、年少人口、生産年齢人口、老年人口、に分けた、この冊子での年齢区分を明記する。

◆市の考え方について

6頁の該当箇所表中に「年少人口」「生産年齢人口」「老年人口」の年齢区分を追記修正します。

【2章 総合戦略】

〈戦略の方向性と基本目標及び目標達成のための重点事業〉

○いただいた意見・提案

基本目標“暮らしたいまち”“訪れたいまち”にあえて女性を表現した理由を知りたい。
(差別化されたように、感じました。良きも悪きも)

◆市の考え方について

9頁-10頁の「3 戦略の方向性と基本目標及び目標達成のための重点事業」については、戦略の方向性と基本目標、重点事業を分かりやすく表すことを目的としており、多様な主体のかかわりについても表現しています。基本目標の“暮らしたいまち”“訪れたいまち”に限定したのではなく、あらゆる場面で、若者や高齢者、女性など多様な主体が関わりを持ち、連携していくことで、「豊かさを実感できるまち」を実現していきたいとの考え方を表しています。

〈戦略の方向性と基本目標及び目標達成のための重点事業〉

○いただいた意見・提案

冊子を通して老人もまた減少すると犬山市総人口数減少や遺産相続に伴う犬山から市民財産の他市への移動（秋田県では切実）の記述が少ない。老年については市の地域包括で向上を図る（）とされているが、なぜ犬山市社会福祉協議会（以下社協とす）と連携して向上を図らないのか。社協は高齢者・障害者・貧困など社会福祉を進める法人であり市からの多額の委託金をうけ、市一社協間の出向も毎年数名あり、市の退職者の再雇用先になっていて、市と意識共有がなされているので連携するのは財源上と機能上に望ましい有り方である。

提案。2章3のp9に、「セフティーネットの整備のため社協との連携を強化する」、を追加して頂きたい。

提案。2章3のp9に、「⑩高齢者・障害者・貧困のセフティーネットの整備」、を追加して頂きたい。

◆市の考え方について

現在、市は、社会福祉法人社会福祉協議会がより主体的に地域福祉に取り組むために、支援及び協議をしております。今回の総合戦略においては、市と社会福祉協議会との連携についての記述はしていませんが、今後の施策展開の中で検討してまいります。

<戦略の方向性と基本目標及び目標達成のための重点事業>

○いただいた意見・提案

具体的な事業（施策）のK P Iが不明で、実現が薄い戦略に思えてしまいます。例を挙げれば、P11「基本戦略：くらしたいまちがある」のK P Iとして合計特殊出生率、社会移動人口、今後も犬山市に住みたいと思う人口の3つが掲げられていますが、これらを実現する具体的な事業のK P Iが掲げられていない為、実現性が非常に薄く思えます。たとえば、事業のひとつに、あらたな商業施設を積極的に呼び込みますとありますが、その結果としてどうなるのかという具体的な目標値が掲げられなければならないはずです。どんなK P Iが適切かといえ、P4で語られている問題点が解決されるようなK P Iが最適かと思えます。

1. 商店数は 642 店から 434 店に減少 ⇒××年までに〇〇店に増加させる
2. 年間販売額 739 億から 613 億円に減少 ⇒××年までに〇〇億に増加させる
3. 市内で買い物をする人の割合 総合(全品目)60.5%→33.2%、買回り品 50.7%→10.7% に減少 ⇒ ××年までに〇〇%に増加させる など

（「あらたな商業施設を積極的に呼び込みます」について一例を挙げましたが、他の事業も同様にK P Iが必要だと思います）

今回の戦略を簡単に図式化すると、人口ビジョン（目標値あり）⇒3つの基本戦略（目標値あり）⇒具体的事業（目標値なし）となっており、一番大事な末端の施策の目標値がありません。そんな細かい数値は後から考えれば良いと言われるかもしれませんが、ここが曖昧なままでは、その上位となる基本戦略や人口ビジョンは決して達成できないと思います。今回の戦略立案の段階で、各施策のK P I設定はマストだと思います（どこの道路にどんな商店を誘致するなど、施策の具体的な中身は後からでも良い）。一般的な会社の戦略立案であれば、この状態では承認されないと思います。ぜひ、各施策（事業）に具体的なK P Iを設定し、実現可能な戦略として頂きたいと思います。

◆市の考え方について

総合戦略の重要業績評価指標(K P I)については、戦略の方向性を「豊かさを実感できるまち」と定め、それを達成するために明確な目標として3つの基本目標を設定しており、それぞれにK P Iを複数設定しています。今回の重点事業は、実施が確定している事業もちろんありますが、「この先4年間で検討し、何とか事業化に向けチャレンジして、その結果を確認していこう」という段階の事業も多く掲げています。

従って、達成可能な「業績評価」を細かく設定するのではなく、チャレンジする事業を積み上げていくことで基本目標を達成していきたいという考え方から、各事業単位でのK P I設定は行なっていません。

なお、総合戦略は平成31年度までの間、随時内容の見直しを実施する予定をしており、その都度、各事業の進み具合や達成度などを検証します。どのように測定していくか、という評価の仕組み構築は課題であり、研究・構築の必要性を認識しておりますので、そうした定期的な確認作業の中で、ご指摘いただいた具体的なK P Iの設定についても内容を検討していきたいと考えております。

《基本目標 “暮らしたいまち”がある》

○いただいた意見・提案

今後、結婚や子育てをしていく予定なので、犬山の暮らしたいまちへの戦略に特に期待しています。

犬山から名古屋へのインフラ整備が進められ、渋滞が解消されれば、都市との移動時間が軽減され行き来が楽になるので、都市に住むより家賃面で有利な犬山に住み続けたいです。

観光への取り組みから、市民の生活レベルへの取り組みが実感できるよう、総合戦略を支持します。

◆市の考え方について

若い世代の方が、安心して結婚し、出産し、子を育てることができる社会の実現は、総合戦略が目指すまちの姿として非常に重要です。

また、名古屋からの通勤・通学圏内である犬山市は、その立地特性を活かしたまちづくりを進めていく必要があると考えています。そのためには、重要な幹線道路の整備を進め、安全で快適な生活のため、道路等のインフラの修繕もしっかりと実施していく必要があると考えています。

このような視点も含め、基本目標「暮らしたいまちがある」において、子育てを応援する施策として「子ども医療費の助成拡充」、「子育て情報の充実」に加え、快適な都市環境の整備促進施策として「住環境の整備」を重点事業として設定しております。若い世代の方を始め全ての世代のみなさんが、犬山での暮らしに快適さや豊かさを感じていただけるよう戦略を推進してまいります。

《基本目標 “暮らしたいまち”がある》

○いただいた意見・提案

将来的に、犬山の人口を増やしていく為にも、まず結婚する人や若者に、ここ犬山に定住してもらう事が大切ですね。

そこそこの年齢が来ても、結婚していない方も多く、市で取り組めるような婚活事業はいかがでしょうか？(妹がコミュニケーション講師、司会をしていて、何かお役に立てる事があるかも知れません)。

◆市の考え方について

犬山における婚活に関する取り組みについては、数年前に民間の方による「街コン」が城下町界限で行われており、社会福祉協議会においても定期的に婚活事業を開催しています。市民意識調査では結婚しない理由の1位として「出会いの場がない」となっており、晩婚化、晩産化が進む現状を踏まえ、民間活力にも期待しつつ、今後、行政としての取り組みの検討が必要になるものと考えています。

《基本目標 “暮らしたいまち” がある》

○いただいた意見・提案
社会的弱者に、心のかよった行政サービスを望みます。特に、独居老人の看取り、相談相手等、それらが、組織として確実に吸い上げられる様な取り組みを。例えば、月に2度位、無料のお弁当を、配達を兼ねての訪問など。また、虐待の悲しいこと(子も老人も)が、繰り返さない様に。
◆市の考え方について
誰もが活躍でき、心豊かに暮らせるまちであることが、まちの暮らしやすさや豊かさ、快適さ、そして活力に繋がるものと考えており、誰もが豊かに暮らせるようなまちであることが重要です。基本目標「活躍したいまち」では市民のみなさんの活動をどんどん支援してまちを元気あるものにしていこうという方向性を掲げています。こうした観点から、地域の誰もが楽しく、笑顔で、孤立することなく、豊かに生活できるような社会の実現を行政と市民のみなさんが一体となって進めていく必要があると考えています。

《基本目標 “暮らしたいまち” がある》

○いただいた意見・提案
市街化区域都市計画税区域へコンパクトシティ化を。
◆市の考え方について
土地利用に関するまちづくりの考え方については、来年度に見直しを行う第5次犬山市総合計画において、検討していくこととなります。

《基本目標 “暮らしたいまち” がある》

○いただいた意見・提案
小学校は地域の魂。郷土愛の象徴。ここへ保育園・老人憩いの場を集約する。統合・廃校などもってのほか。
◆市の考え方について
学校に高齢者など、様々な世代が集い、交流するという仕組みを構築することは地域の絆を強化することにつながると考えますが、今後、公共施設の再配置を含めた施策を検討する上での参考とさせていただきます。

《基本目標 “暮らしたいまち” がある》

○いただいた意見・提案
水力発電所変電所集約集中の街：犬山。 ゴルフ場と緊急時協定を。
◆市の考え方について
今後の施策検討の参考とさせていただきます。

《基本目標 “暮らしたいまち”がある》

〈①子ども医療費は中学卒業まで全額助成します〉

○いただいた意見・提案

犬山市まち・ひと・しごと創生総合戦略を読ませていただき、人の住みやすい環境づくりや子育てへの取り組みに関して、私は、2児の母ですが、今まで子どもの医療費はなぜ地域によってバラバラなのか疑問だったのですが、今年(28年度)から、中学3年生まで無料、費用がかからないという事を知り、とても助かると思っています。

◆市の考え方について

子ども医療費は平成28年度から中学卒業まで全額助成となります。
また、高校1年生から3年生までは引き続き本人負担額の2/3を市が助成(本人負担は1/3)いたします。子育てにかかる負担が少しでも軽減できるよう、市として子育てに関する応援・支援を続けてまいります。

〈③育ちを支える「わ」づくりをすすめます〉

○いただいた意見・提案

子育て支援について

産まれてからではなく、出産前からの支援が充実すると良いと思います。

(例)産院の増加、産婦への支援(老人介護の逆、タクシー補助、コミュニティバス補助、(急遽入院時など)通院時の上の子預かり、同伴通院など)

◆市の考え方について

「豊かさを実感できるまち」を実現するためには、安心して若い世代が出産や子育て出来るような環境づくりがとても重要であると考えています。

総合戦略では、基本目標「暮らしたいまちがある」において、そうした社会の実現に向け、重点的に取り組みを進めることとしています。そのうちのひとつとして「育ちを支える「わ」づくり事業」を重点事業として設定しており、子育ての負担や不安を軽くして、これから親になる人や将来の世代に子育ての喜びを伝えることが大切であると考えています。

ご指摘については、本市が今後進めていくべき施策の方向性と合致しており、「ベビワン訪問」や「0歳児のマイ保育園事業」などの取り組みを進めるとともに、ホームページをリニューアルして、子育て施策のわかりやすい発信に努め、今あるサービスメニューを周知して、利用促進につなげていきたいと考えています。その他の施策事業も含め安心して子育てできるまちとなる取り組みを実践してまいります。

<⑤住環境（インフラなど）を整えます>

○いただいた意見・提案
色々な事件があらゆる所で起きていますが、もっともって犬山には治安の良い環境づくりに努めていって頂きたいと思ひます。
◆市の考え方について
「安心・安全なまちづくり」という視点は、市民の皆さんが犬山で心豊かに暮らして行くための重要な要素であると考えております。 基本目標「暮らしたいまちがある」の重点事業5「住環境を整えます」において記述している「街路灯の設置」をはじめ、市民が安心して暮らせるための取り組みを進めてまいります。

<⑤住環境（インフラなど）を整えます>

○いただいた意見・提案
序章4に、『「災害が少なく安全なまち」・・・ある一方で、街路灯の設置や・・・整備など、安心・安全の・・・』があります。この一方で、以下の記述に災害の備えの記述が無いのはどうしたことでしょうか。自身の学習、町内会の自主防災組織やコミュニティーの防災活動、および防災災害団体の活動で災害に備える（備えている）のではないのでしょうか。 提案。たとえば、『「災害が少なく安全なまち」・・・ある一方で、災害に備えた市民の学習機会を増やし、町内会やコミュニティーの自主防災活動や防災災害のボランティア活動を強化し、街路灯の設置や・・・整備など、災害に強い、安心・安全の・・・』と下線の補充を求めたい。
◆市の考え方について
防災活動も含めた様々な分野における多様な主体による市民活動については、非常に大切であると考えており、加えて、災害に関するボランティア活動を日々実践されている方々に対して、まちの安全安心を形作っておられる重要な担い手として感謝しております。基本目標「活躍したいまち」の重点事業9「まちへの想いをカタチにしよう」においては、そうした市民活動を全般に応援することとしています。 なお、ご指摘の意見を踏まえ、3頁「犬山市の特徴と課題」に追記修正をします。

<⑦帰ろう ふるさと犬山へ 暮らそう 働く犬山で>

○いただいた意見・提案
三世代同居（隣居、近居）のまちづくり。
◆市の考え方について
三世代同居のための支援は、人口減少局面における定住の促進や出生率の改善に対して、有効な施策であると考えています。 基本目標「暮らしたいまちがある」のうち重点事業「帰ろうふるさと犬山へ 暮らそう 働く犬山で」においてU I Jターンの支援を打ち出しており、定住が促進されるような支援の取り組みを続けてまいります。

<⑨「里山に住む」仕組みづくりに挑戦します>

○いただいた意見・提案
木曾川文化の都。誇らしい総合計画を。 （ほかのまちの総合戦略と読み替えても通じる優等生作文づくりは 排除する）
◆市の考え方について
木曾川の価値は非常に高く、今後さらに重要になってくると考えています。水辺を活かしたまちづくり活性化を推進してまいります。

<⑨「里山に住む」仕組みづくりに挑戦します>

○いただいた意見・提案
桃太郎物語は世界に誇る童話の世界。これも世界遺産級。栗栖の宝。
◆市の考え方について
今井、栗栖、池野、城東、羽黒、楽田、橋爪、五郎丸、上野…など、数え挙げればきりがありませんが、地域は宝の山です。紹介いただいた桃太郎神社なども素晴らしい資源であると考えております。これらの貴重な宝を十分に活かしていきたいと思っております。

《基本目標 “活躍したいまち” がある》

<④シルバーと若者が農業に挑戦！>

○いただいた意見・提案
農業国犬山の農業6次産業の創出を。
◆市の考え方について
農業を産業として深化させ、経済そのものを活性化させることは非常に重要であり、基本目標「活躍したいまち」の重点事業4「シルバーと若者が農業に挑戦！事業」において農業の振興を図っていくことを目指しています。

〈⑤みんなで地域力UP！にチャレンジ〉

○いただいた意見・提案

貴案 p 27 の総力協議会パイロットは、p 20 を見ると、犬山市全体の総力では無く、モデル地域の総力であることが分かる。モデル地域を選定や実施を 10 小学校区の全市に普及するには任期 8 年でも足りないように思われる。新規目玉としては面白いプロジェクトであろうが、貴案 p 7 に記述があるように「今ある制度や仕組みを工夫したり、・・組み合わせたり」が本当は財政削減や効率化への本丸だ。これを成し遂げる説得や共同活動が必要のため、ともすれば新規のプロジェクトをつくり屋上に屋根をつける事態になっている現状を是非打破して頂きたい。

犬山市全体の総力にするには、市民が動かなければ職員の仕事とすれば経費が増大するだろう。市民を動かすには、町内会・コミュニティーの連携が重要である。しかし、これまでの経過から町内会・コミュニティーの間には仲介が必要でボランティア団体がそれに相応しい。

ボランティア団体は条例で市の所管する市民活動センター（市民活動センターの会では無く）と社協の所管する社会福祉ボランティア団体および日赤奉仕団・食改にみられる市各課所管の団体に分かれていて、連携・協力の努力が成されていない。これらが協力すれば 350 ほどの町内会に働きかけることは、経費を多くかけずに可能となる。

提案。貴案 p 27、p 20、など冊子の“総力”協議会パイロットプロジェクトは、「モデル地域総力協議会パイロットプロジェクト」と明確に書いて頂きたい。

提案。市の所管する 2 つのボランティア団体と社協の所管する社会福祉ボランティア団体の連携を強化する少額の予算措置や方針を盛り込んで、「⑨市民活動や社会福祉活動の更なる支援」と追加して頂きたい。

◆市の考え方について

総合戦略基本目標「活躍したいまちがある」の重点事業 5 「みんなで地域力UP！にチャレンジ」については、様々な主体が課題解決の為に一丸となって取り組むことで、郷土を愛する気持ちを高め、魅力ある地域づくりの実現を果たそうとするものです。

また、地域を支える人材が育つような取り組みも進めていこうとする内容としています。本事業においては、そうした事業全般を進めていこうとするものであり、その中で特にチャレンジする取り組みとして「“総力”協議会パイロットプロジェクト」を設定しております。この事業自体は、文字通り非常にチャレンジ要素の強い内容であり、「パイロット」という言葉には「テスト」「試験的」という意味が含まれており、本事業の位置付けを表しています。「まずはやってみよう」「チャレンジしていこう」という考えに基づき計上しており、これは総合戦略全体に通じた方向性です。このため、現在は小学校区すべてにおいて 1 年ずつ順番に実施するという計画ではなく、モデル事業として選定・検討・実施して、その結果や効果を他の地区において活用することを目指しています。今ある制度を工夫したり、既存のサービスを組み合わせたり、という考え方についても、既にある素晴らしい犬山の素材を活かすことの大切さや取り組みの方向性を示しております。このため、多額の事業費を要する新規事業をたくさん実施するのではなく、こうした見地から事業を設計

し、構築していこうとすることも総合戦略の考え方としています。財政削減や効率化は非常に大切であり、事業のスクラップ&ビルドも重要であると考えています。

犬山市全域において市民活動の更なる充実を図るには、行政だけでは成し得ることができないことはまさにご指摘のとおりです。様々な主体が参画していただき、また様々な団体が連携し取り組みを強化することが重要であると考えております。ご指摘いただいた内容については非常に意義深いと思うところですが、今回、人口減少と経済縮小を課題として策定する総合戦略の重点事業としては具体的に計上させていただいておりません。

<⑦犬山らしい教育をすすめます>

○いただいた意見・提案

学校では、心ない、間違った進路指導で自死された中学生の件がありましたが、そのようなことが二度と起こらない様に、犬山としてもよろしくお願ひしたいと思ひます。長い目で見て、暮らしやすい犬山として皆が認めることによって、ひとも増えていくのではないのでしょうか。

◆市の考え方について

「暮らしたいまち」、「住んでみたいまち」の実現において、教育に関する取り組みもとても重要であると考えています。

基本目標「活躍したいまち」の重点事業7において「犬山らしい教育をすすめます」として子どもたちの健やかな育ちを応援しており、犬山の子どもが生き生きと育っていきけるよう邁進していきます。

<⑦犬山らしい教育をすすめます>

○いただいた意見・提案

コミュニケーション授業を、守山中学、犬山、岐阜県(小学校・中学校が多い)にて行っている事などを聞き、生徒さん達の為にも、とても良い事だな、と感じております。小学生、中学生の頃からコミュニケーションを学び、自分の言葉で自分の気持ちと夢を語れるような社会を作っていく。そんな授業を普通の科目のように実施してもらえたらいいと思ひます。周りや相手を認めることが出来るようになると思ひます。

◆市の考え方について

他者を認識・理解して認め合うことができるようになることはとても大切であり、学齢期において学ぶべき大切な項目であると思ひますが、授業のカリキュラムについては、学校で検討されることとなりますので、今後の参考とさせていただきたいと思ひます。

なお、教育については基本目標「“活躍したいまち”がある」のうち重点事業7「犬山らしい教育をすすめます」で子どもの健やかな育ちをどんどん応援してまいります。

<⑦犬山らしい教育をすすめます>

○いただいた意見・提案

どうすれば合法的で効果的な示威運動をおこなえるかを、小学校と中学校の授業で具体的に教えるようにしてほしい。

◆市の考え方について

教育については、基本目標「活躍したいまちがある」の中の「5年間のすすめかた」において「すべての子どもが自信と希望(目標)を持つことができるよう、あらゆる世代の人と地域と関わりを持ちながら自ら学び、成長できる環境を整えます」と記述しています。これを受け、重点事業7では「犬山らしい教育をすすめます」と設定し、子どもたちの健やかな育ちを応援することとしています。

「示威運動を義務教育で教えるべき」とのご意見については、本戦略で記述することは適当ではないと考えております。

<⑦犬山らしい教育をすすめます>

○いただいた意見・提案

日本国憲法第16条で保障されている誓願権について小・中学校の授業で具体的且つわかりやすく教えてほしい。即ち、ただ単に誓願権が存在するというだけでなく、どのように誓願権を行使すればよいのか、どのように自治体や議会などに誓願したらよいのかについて、具体的で実用的な方法や手順を義務教育でつぶさに教えてほしい。さすれば、次代を担う若人たちは、長きにわたり受け継がれてきた管理教育の悪習を打ち破ることのできる主体的且つ自主的な思考と行動力を有した人材へと成長できるであろう。そのような若者が活躍することによって旧態依然とした管理教育の弊害が払拭され、子々孫々に至るまで有能且つ有用な人材が育つための堅固な地盤が構築され得るであろう。同時にまた、日本国憲法第17条で明示されている国及び公共団体の賠償責任についても、義務教育の過程で明確且つ具体的に教えてほしい。さすれば、学校の先生などの公務員から体罰やセクハラや虐待を受けたとき、泣き寝入りせず平和的且つ効果的な解決策を探求し、補償を勝ち取ることで次代の担い手が育成されていくであろう。そのような活気のある若人により活気のある「まち」が造成されていくであろう。

◆市の考え方について

ご提案については、本戦略で記述することは適当ではないと考えております。

<⑦犬山らしい教育をすすめます>

○いただいた意見・提案
犬山市にオンブズマン制度を導入し、オンブズマンが行政を見張るようにしてほしい。そして、オンブズマンに給料を支払うことで、オンブズマンという「しごと」、すなわち職業が創生できる。オンブズマンの育成のため、義務教育の過程でオンブズマンの役割や業務内容などについて明瞭且つ具体的に教えてほしい。そのために、小学校の児童会や中学校の生徒会に社会教育の一環としてオンブズマンを設置してほしい。児童会や生徒会にオンブズマン制度を取り入れることにより、有能なオンブズマンを育成するのである。
◆市の考え方について
「人口減少と経済縮小」を克服することをテーマとする本総合戦略において、行政や小中学校の生徒会等でオンブズマン制度を導入するかについて記述することは適当ではないと考えております。

<⑨まちへの想いをカタチにしよう>

○いただいた意見・提案
犬山の豊かな自然の維持、管理の大切さを多くの人に知ってもらうために、里山等の自然や、放置田・畑の活用。健全な森林の維持管理の大切さを多くの人に知ってもらうための、市民参加の呼びかけもお願いしたいところです。
◆市の考え方について
里山や森林は犬山の宝であり、未来に繋ぐべき大切な資源であることを強く認識しています。市民一人ひとりが、犬山の魅力を知り、愛着を深め、まちの担い手として活躍できるよう、取り組みを進めます。

《基本目標 “訪れたいまち”がある》

〈③シティプロモーションを積極展開します〉

○いただいた意見・提案

若者に視点を向け、このプロジェクトを展開したものであるなら、若者が住みたい、関わりたい「犬山」に自信を持ち、強く発信していきたい。「豊かな自然、歴史、認知度、インフラの整備」。どの部分を取り上げても誇れるまちです。行政がオープンなところ、身近な存在であることもアピールしてください。

◆市の考え方について

総合戦略は、策定の段階からあらゆる世代の方に関心を持っていただき、また参画していただけることを願い、取り組みを進めてきました。

取り分け、未来を担う若い世代に少しでも関わっていただけるよう、職員と若い市民による検討グループ「犬山の未来を考え隊」を結成し、「犬山の未来が良くなるには？」を考え、若い感性で事業提案をしてもらうことができました。子育て世代のお母さんへのインタビューや大学生、高校生などにインタビューし、生の声を聞く訪問型アプローチでは、豊かな自然や歴史文化などを誇りに思う市民の声が多く聞かれました。観光地としての認知度も高まっており、こうした犬山の魅力を市の内外に積極的にアピールしていく必要があります。

住む人がまず誇りに思い、愛着を感じてもらい、心豊かに暮らすことで、市外の人にも魅力的に見え、「行ってみたい」そして「住んでみたい」と思えるようなまちを目指し、魅力的なまちづくりを進め、より効果的な情報発信をするため、今後、さらにシティプロモーションを強化していきます。